

研究ノート 奈良県の中国人観光客誘致にむけて：現状と課題 Present Situation and Problems in Drawing Chinese Tourists to NARA

野口 隆
NOGUCHI Takashi

はじめに

中国人の海外旅行は近年解放されたばかりであるが、日本を訪れる中国人旅行者は急速に増加している。グローバル化する世界の中で、今後の奈良の観光の発展を考えると、海外からの観光客の誘致（インバウンドの振興）は不可避の課題であるが、なかでも、世界第2位の経済大国となり、中間層が増大している中国からの観光客を誘客することは重要な課題である。本稿はこの課題にこたえるため既存の統計データを基に分析を試みたものである。

なお、本稿は奈良県中小企業診断士協会が2011年度に実施した「中国人観光客奈良インバウンドに向けた調査研究会」に、筆者も特別委員として参加させていただいたとき委員会に提出した資料に一部加筆・修正したものである。同協会の了解を得てここに掲載する。

1. 外国人訪問客

（1）我が国を訪れる外国人

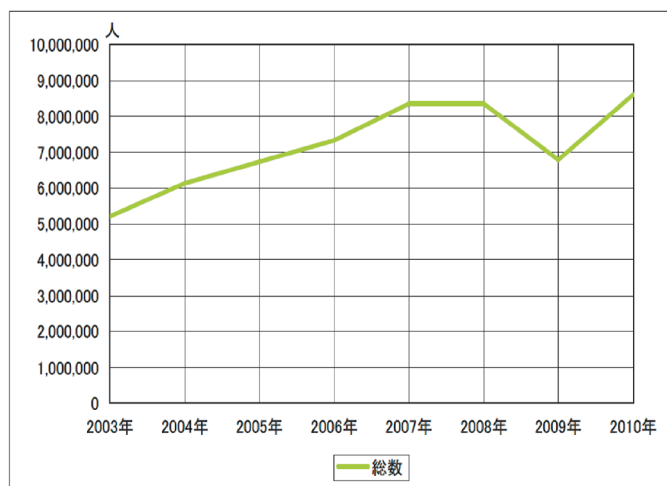
①訪問客数

我が国を訪問する外国人は、国のビジット・ジャパン事業の成果もあり、2009年のリーマンショックによる落ち込みはあったものの、ほぼ順調に増加している。

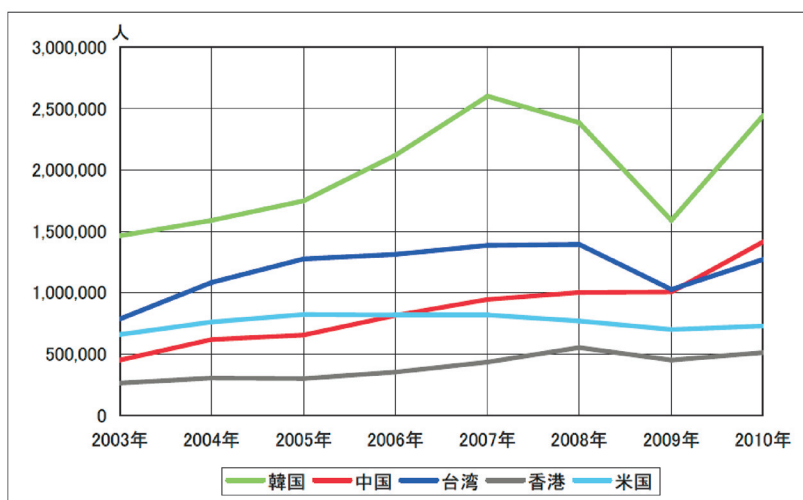
2010年の訪日外客数は全体では約861万人であり、このうち、アジアからの訪問客が653万人と75.8%を占める。国別にみると、韓国、中国、台湾、米国、香港が上位5ヶ国である。

2009年からの伸び率をみると、韓国53.8%、中国40.4%、台湾23.8%、米国3.9%、香港13.2%である。しかし、中国を除く各国は2009年の落ち込みが激しいため、数字が大きくなっているのに対し、1中国は2009年も微増であることを考えると、中国の伸びは極めて大きいといえよう。

ビジット・ジャパン事業開始以来の訪日外客数



ビジット・ジャパン事業開始以来の訪日外客数（国別）



資料 日本政府観光局（JINTO）

ビジット・ジャパン事業開始以降の訪日客数の推移（2003年～2010年）

単位：人

	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年
総数	5,211,725	6,137,905	6,727,926	7,334,077	8,346,969	8,350,835	6,789,658	8,611,175
韓国	1,459,333	1,588,472	1,747,171	2,117,325	2,600,694	2,382,397	1,586,772	2,439,816
中国	448,782	616,009	652,820	811,675	942,439	1,000,416	1,006,085	1,412,875
台湾	785,379	1,080,590	1,274,612	1,309,121	1,385,255	1,390,228	1,024,292	1,268,278
香港	260,214	300,246	298,810	352,265	432,042	550,190	449,568	508,691
タイ	80,022	104,864	120,238	125,704	167,481	191,881	177,541	214,881
シンガポール	76,896	90,001	94,161	115,870	151,860	167,894	145,224	180,960
豪州	172,134	194,276	206,179	195,094	222,518	242,031	211,659	225,751
米国	655,821	759,753	822,033	816,727	815,882	768,345	699,919	727,234
カナダ	126,065	142,091	150,012	157,438	165,993	168,307	152,756	153,303
英国	200,543	215,704	221,535	216,476	221,945	206,564	181,460	184,045
フランス	85,179	95,894	110,822	117,785	137,787	147,580	141,251	151,011
ドイツ	93,571	106,297	118,429	115,337	125,193	126,207	110,692	124,360
マレーシア	65,369	72,445	78,173	85,627	100,890	105,663	89,509	114,519
インド	47,520	53,000	58,572	62,505	67,583	67,323	58,918	66,819
ロシア	44,512	56,554	63,609	60,654	64,244	66,270	46,952	51,457
その他	610,385	661,709	710,750	674,474	745,163	769,539	707,060	787,175

資料 日本政府観光局

②県別の外国人訪問客

都道府県別に外国人訪問率をみると 2005 年から 2010 年まで、第 1 位は東京都、第 2 位は大阪府、以下京都府、神奈川県、千葉県の順であり、5 位まで 5 年間変わっていない。6 位以下は愛知、福岡、兵庫、北海道など毎年少しずつ順位が変わっている。

奈良県は 2005 年、2006 年は 11 位、2007 年、2008 年は 10 位、2009 年は 11 位である。

都道府県別訪問率（N=回答者数）

平成17年度（N=12,232） 2005-2006			平成18年度（N=13,891） 2006-2007			平成19年度（N=14,535） 2007-2008			平成20年（N=14,963） 2008			平成21年（N=15,355） 2009		
順位	都道府県	訪問率 (%)	順位	都道府県	訪問率 (%)	順位	都道府県	訪問率 (%)	順位	都道府県	訪問率 (%)	順位	都道府県	訪問率 (%)
1	東京	58.5	1	東京	57.4	1	東京	58.2	1	東京	58.9	1	東京	58.8
2	大阪	22.6	2	大阪	23.7	2	大阪	25.8	2	大阪	25.0	2	大阪	24.4
3	京都	19.1	3	京都	20.3	3	京都	21.8	3	京都	21.4	3	京都	20.6
4	神奈川	18.9	4	神奈川	18.8	4	神奈川	16.3	4	神奈川	16.0	4	神奈川	16.7
5	千葉	15.4	5	千葉	16.7	5	千葉	11.4	5	千葉	11.8	5	千葉	12.7
6	愛知	11.9	6	愛知	9.6	6	福岡	9.6	6	愛知	10.1	6	愛知	9.6
7	福岡	7.4	7	福岡	8.7	7	愛知	9.4	7	福岡	9.7	7	福岡	8.6
8	兵庫	6.9	8	兵庫	7.4	8	兵庫	8.8	8	兵庫	8.1	8	北海道	8.0
9	山梨	5.8	9	山梨	6.6	9	北海道	7.6		北海道	8.1	9	兵庫	7.9
10	北海道	5.6	10	北海道	6.4	10	奈良	7.1	10	奈良	6.5	10	山梨	6.8
11	奈良	4.9	11	奈良	6.1	11	山梨	5.5	11	山梨	5.9	11	奈良	6.2
12	静岡	3.6	12	長崎	4.3	12	大分	4.8	12	大分	4.9	12	広島	4.5
	長崎	3.6	13	栃木	4.2	13	熊本	4.6	13	熊本	4.7	13	栃木	3.7
14	栃木	3.5	14	大分	4.0	14	長崎	4.3	14	広島	4.0	14	大分	3.2
	広島	3.5		広島	4.0	15	広島	3.9	15	長崎	3.9		静岡	3.2
16	熊本	3.0	16	静岡	3.7	16	栃木	3.7	16	栃木	3.6	16	長野	3.1
17	大分	2.9	17	熊本	3.6	17	静岡	3.4	17	静岡	3.4	17	熊本	2.9
18	沖縄	2.2	18	長野	2.7	18	長野	3.0	18	長野	3.0	18	長崎	2.7

資料 JNTO 訪日外客訪問地調査 2009

③国別訪問先

これを国別にみると、いずれの国も 1 位は東京であるが、主要 5 か国の韓国、台湾、中国、香港、米国についてみると 1 位は東京、2 位は米国は京都、他の国は大阪である。3 位には韓国は福岡、台湾は京都、中国と米国は神奈川、香港は北海道となっている。

ベスト 15 位までに、奈良が入っているのは台湾 13 位、中国 12 位、香港 14 位、米国 9 位であり、韓国はランク外である。都市、地域別には奈良市は 2008 年 24 位、2009 年は 26 位である。

国別 都道府県別訪問率（N=回答者数）その 1

韓国			台湾			中国			香港			タイ		
平成21年（N=3,716） 2009			平成21年（N=2,286） 2009			平成21年（N=2,068） 2009			平成21年（N=1,100） 2009			平成21年（N=336） 2009		
順位	都道府県	訪問率 (%)	順位	都道府県	訪問率 (%)	順位	都道府県	訪問率 (%)	順位	都道府県	訪問率 (%)	順位	都道府県	訪問率 (%)
1	東京	45.0	1	東京	44.3	1	東京	70.8	1	東京	53.7	1	東京	52.1
2	大阪	21.6	2	大阪	23.7	2	大阪	41.6	2	大阪	19.6	2	大阪	33.0
3	福岡	20.3	3	京都	15.8	3	神奈川	30.1	3	北海道	17.3	3	千葉	22.3
4	京都	11.1	4	千葉	15.2	4	京都	29.4	4	千葉	13.9	4	神奈川	21.4
5	神奈川	9.7	5	神奈川	15.0	5	千葉	23.1	5	京都	10.2	5	京都	18.5
6	大分	8.3	6	北海道	13.2	6	山梨	17.5	6	山梨	7.7	6	兵庫	13.1
7	兵庫	7.2	7	愛知	12.1	7	愛知	16.9		神奈川	7.7	7	愛知	12.8
8	熊本	6.3	8	兵庫	9.8	8	北海道	8.9	8	沖縄	7.5	8	山梨	11.0
9	千葉	6.2	9	長野	6.3	9	兵庫	6.7	9	愛知	5.9	9	栃木	7.1
10	北海道	5.7	10	福岡	5.9	10	静岡	5.4		兵庫	5.9	10	奈良	6.8
11	愛知	5.5	11	山梨	5.2	11	福岡	4.6	11	福岡	4.2	11	北海道	5.7
12	奈良	5.4	12	岐阜	5.1	12	奈良	3.8	12	宮城	3.6	12	福岡	4.8
13	長崎	4.5	13	奈良	5.0	13	茨城	2.5	13	長野	3.4	13	宮城	4.2
14	埼玉	2.0	14	沖縄	4.4	14	栃木	2.4	14	奈良	3.1	14	広島	3.9
15	宮城	1.8	15	静岡	4.1	15	長野	2.0	15	富山	2.9	15	静岡	3.6
							埼玉	2.0						

JNTO 訪日外客訪問地調査 2009

国別 都道府県別訪問率 (N=回答者数) その2

シンガポール			マレーシア			インド			オーストラリア			米国		
平成21年 (N=300)			平成21年 (N=190)			平成21年 (N=180)			平成21年 (N=454)			平成21年 (N=1,516)		
2009			2009			2009			2009			2009		
順位	都道府県	訪問率 (%)	順位	都道府県	訪問率 (%)	順位	都道府県	訪問率 (%)	順位	都道府県	訪問率 (%)	順位	都道府県	訪問率 (%)
1	東京	62.7	1	東京	59.5	1	東京	68.9	1	東京	68.3	1	東京	66.5
2	大阪	23.0	2	大阪	28.4	2	神奈川	23.9	2	京都	29.3	2	京都	20.4
3	千葉	17.3	3	千葉	21.1	3	大阪	20.0	3	大阪	24.4	3	神奈川	20.3
4	北海道	17.0	4	京都	15.8	4	京都	18.3	4	千葉	16.7	4	大阪	17.2
5	京都	15.3	5	北海道	15.3	5	愛知	15.0	5	北海道	15.9	5	千葉	11.2
6	神奈川	14.7	6	神奈川	14.2	6	千葉	9.4	6	広島	13.9	6	愛知	8.2
7	愛知	9.0	7	山梨	11.1	7	兵庫	8.9	7	神奈川	12.6	7	兵庫	6.6
8	山梨	8.7	8	愛知	8.4	7	山梨	8.9	8	長野	10.6	8	広島	6.2
9	兵庫	5.7	9	兵庫	7.4	9	広島	6.1	9	山梨	7.9	9	奈良	5.6
10	栃木	3.3	10	福岡	5.3	10	奈良	3.9	10	愛知	7.3	10	山梨	5.4
11	奈良	2.7	11	広島	3.7		福岡	3.9	11	兵庫	7.0		沖縄	5.4
	長野	2.7		奈良	3.7		埼玉	3.9		奈良	7.0	12	栃木	4.7

JNTO 訪日外客訪問地調査 2009

④ 都市別訪問地

都市・観光地別に訪問率をみると、上位は東京都内の各地および京都市、大阪市などが占めている。2008年、奈良市は24位である。

都市・観光地別訪問率

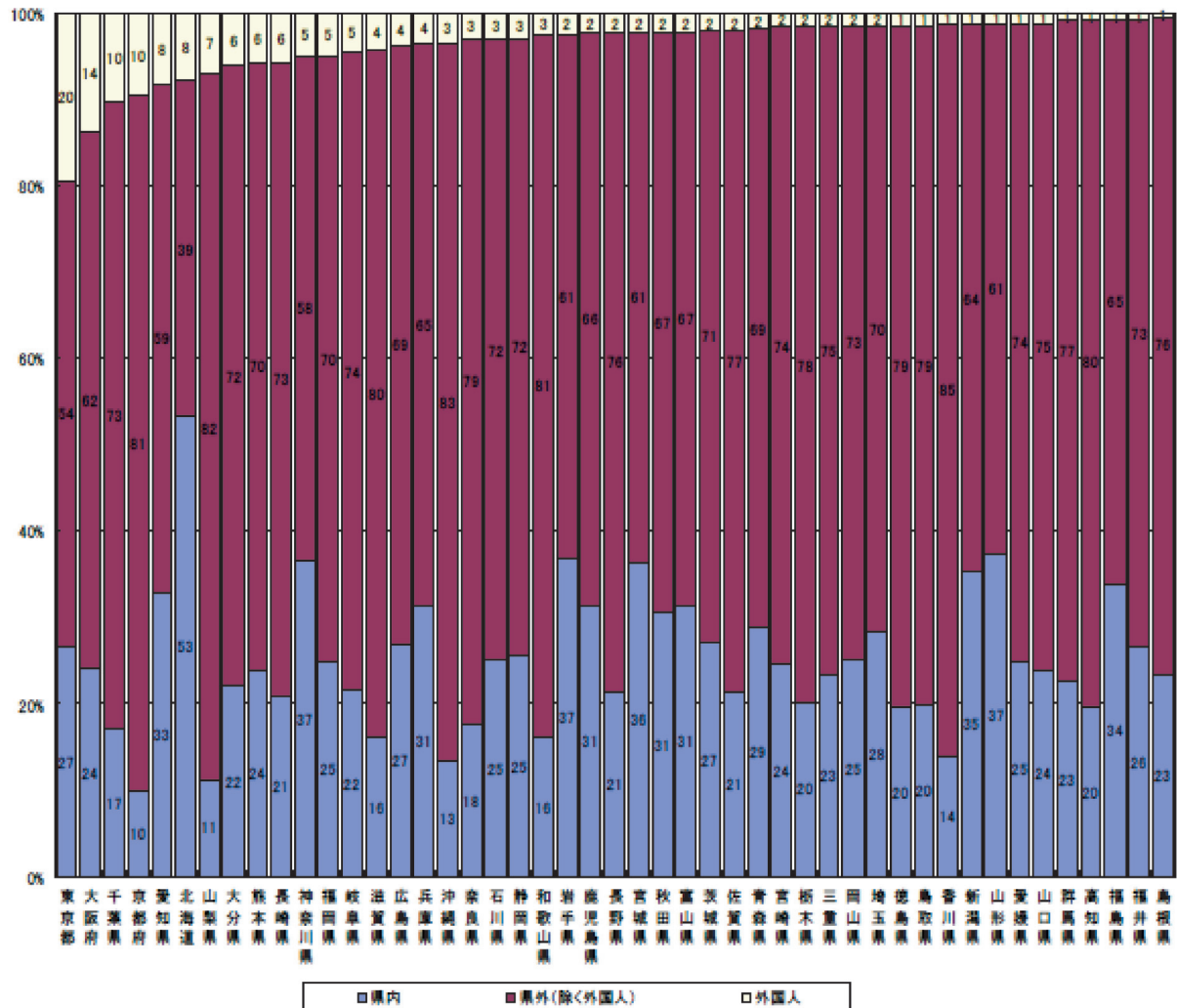
2008			2009		
順位	都市・観光地名	訪問率(%)	順位	都市・観光地名	訪問率(%)
1	新宿	34.5	1	新宿	34.8
2	銀座	26.5	2	銀座・有楽町	25.4
3	浅草	24.2	3	浅草	25.0
4	大阪市	23.6	4	大阪市	23.5
5	渋谷	23.1	5	渋谷	20.3
6	京都市	20.5	6	京都市	20.2
7	秋葉原	18.8	7	秋葉原	20.2
8	上野	18.1	8	上野	19.3
9	原宿・明治神宮	16.4	9	原宿・明治神宮	17.3
10	六本木	15.9	10	六本木	15.4
11	お台場	14.8	11	皇居	14.9
12	東京タワー	13.9	12	お台場	14.2
13	皇居	13.4	13	東京タワー	13.6
14	品川	9.9	14	池袋	10.8
15	池袋	9.8	15	東京駅周辺・丸の内・日本橋	10.7
16	名古屋	9.2	16	名古屋	9.0
17	福岡市	8.9	17	品川	8.7
18	横浜	8.2	18	横浜	8.3
19	東京駅周辺・丸の内・日本橋	7.5	19	福岡市	7.9
20	箱根	7.1	20	箱根	7.1
21	札幌・定山溪	6.7	21	TDR	6.7
22	神戸・有馬温泉	6.5	22	札幌・定山溪	6.6
23	赤坂	6.3	23	神戸・有馬温泉	6.5
24	奈良市	6.2	24	富士山・富士五湖・富士急ハイランド	6.3
25	TDR	6.1	25	赤坂	6.1

資料 JNTO 「訪日外客訪問地調査」2009年

⑤ 外国人宿泊者の比率

府県別の宿泊者の構成をみると、奈良県は県外者の比率が高く全国 5 位、外国人比率も全国 17 位と高いほうである。

県内・県外(除く外国人)・外国人延べ宿泊者数構成比(平成22年10月～12月)



資料 観光庁「宿泊旅行統計調査報告書」平成23年

(2) 訪日中国人旅行者の消費行動

①宿泊施設

宿泊施設ではホテルが大半を占めるものの、旅館の割合が36%ある。

宿泊施設のタイプ（複数回答）観光・レジャー目的のみ

(%)

	ホテル (洋室中心)	旅館 (和室中心)	別荘・コンド ミニアム	親族・ 知人宅
韓国	86.4	11.0	1.0	8.0
台湾	83.5	36.6	1.0	3.9
香港	90.0	25.6	0.9	2.0
中国	90.3	35.6	1.1	2.6
タイ	78.8	24.5	1.8	13.5
シンガポール	94.0	31.9	0.2	1.9
マレーシア	88.4	32.5	0.0	5.2
インド	81.2	16.6	0.0	34.6
英国	85.9	28.7	0.0	11.3
ドイツ	83.4	31.5	5.1	12.5
フランス	74.0	36.8	0.8	15.3
ロシア	81.6	3.6	2.4	18.6
米国	77.0	27.4	0.5	14.2
カナダ	86.9	29.1	0.4	10.7
オーストラリア	88.1	29.4	1.3	10.9
その他	78.8	32.2	1.1	14.7

資料 観光庁「訪日外国人の消費動向」平成22年

②旅行中の支出

国籍別の旅行中の支出をみると、訪日外国人の平均は11.3万円、東アジアでは中国（14.5万円）が高い。しかし、フランス（21.4万円）など他にも高額な国は多い。

訪日外国人1人当たり旅行中の支出（平成22年4－12月期）

国籍	(人) 標本数	(円/人) a. パッケージツアー 往復航空運賃支出 (旅行前支出額)	(円/人) b. 日本国内に おける 旅行中支出額	(円/人) c. 総支出額 (=a.+b.)	(泊) d. 平均泊数	(円/人泊) 1泊当り 旅行中支出額 (=b./d.)	(円/人泊) 1泊当り 総支出額 (=c./d.)
全国籍	17,833	94,946	113,005	207,952	12.4	9,091	16,729
韓国	3,638	49,656	68,489	118,145	7.5	9,137	15,761
台湾	3,157	71,019	77,555	148,574	6.8	11,480	21,993
香港	1,065	79,920	91,053	170,973	5.2	17,607	33,061
中国	2,548	93,365	145,498	238,863	18.2	7,988	13,113
タイ	650	103,196	114,677	217,873	15.5	7,413	14,084
シンガポール	377	111,644	130,222	241,866	7.6	17,166	31,882
マレーシア	268	118,134	106,802	224,936	13.3	8,053	16,960
インド	350	121,789	161,178	282,966	24.3	6,647	11,669
英国	410	144,209	149,929	294,138	13.0	11,571	22,700
ドイツ	550	157,172	151,344	308,515	15.1	10,009	20,404
フランス	476	155,834	214,329	370,163	21.4	10,006	17,281
ロシア	294	121,615	199,695	321,310	26.2	7,633	12,282
米国	1,499	152,186	145,675	297,860	19.5	7,453	15,239
カナダ	350	133,309	114,778	248,087	12.2	9,447	20,418
オーストラリア	516	131,211	158,624	289,835	11.9	13,349	24,390
その他	1,685	165,540	170,256	335,796	20.4	8,326	16,422

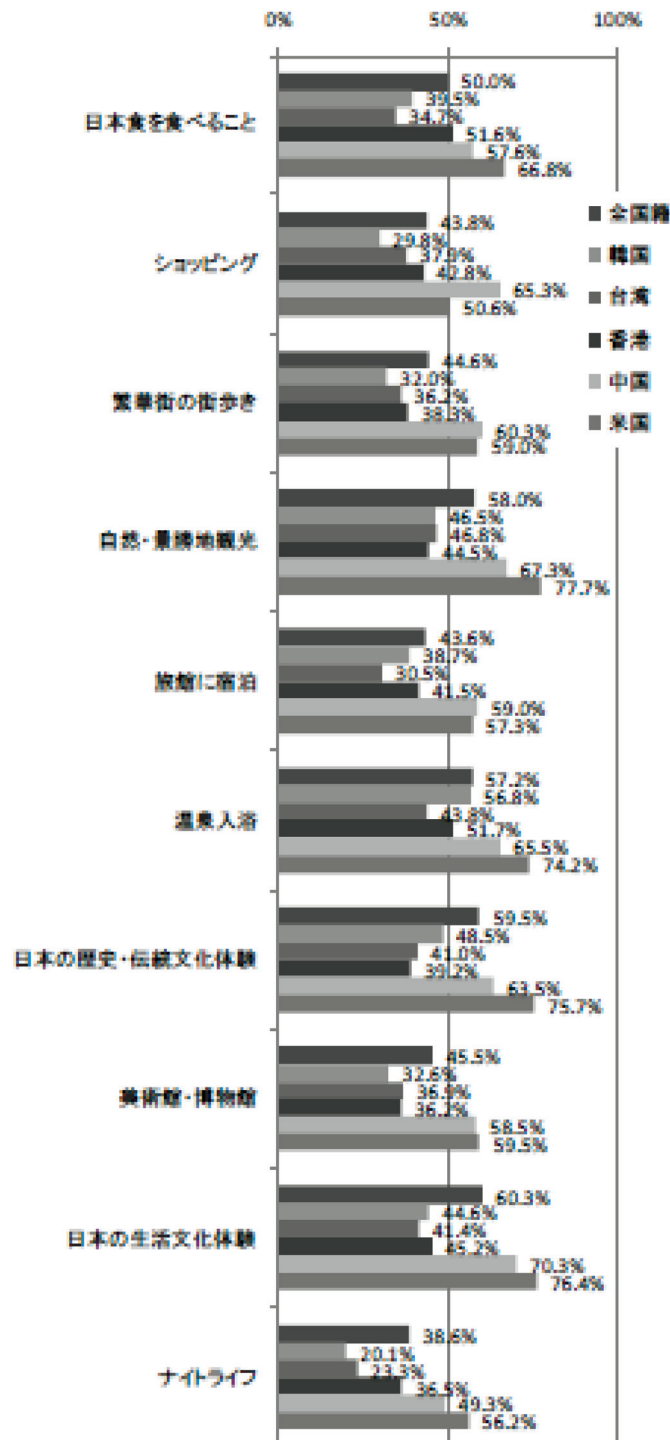
注) 支出額の全体平均は、国籍別平均値を日本政府観光局(JNTO)「訪日外客数」をウェイトとして加重平均したもの

資料 観光庁「訪日外国人の消費動向」平成22年

③期待以上だった活動

日本での活動の満足度では、「日本での生活文化体験」が各国とも期待以上の比率が高いが、中国も同様である。また、国籍別にみて中国と米国の満足度がとくに高い。

期待以上だった活動（実施率上位 11 活動）



資料 観光庁「訪日外国人の消費動向」平成 22 年

④最も満足した購入商品

中国では化粧品(20.6%)、ファッション雑貨(14.8%)の比率が高い、また家電製品やカメラの割合も他の国よりはるかに高い。

最も満足した購入品

商品小区分	国籍	(%)				
		韓国	台湾	香港	中国	米国
衣類		10.1	17.6	21.3	6.3	9.2
ファッション雑貨		9.5	11.9	15.7	14.8	9.2
化粧品		10.5	7.9	6.9	20.6	0.2
香水		1.6	0.0	0.0	1.0	0.8
医薬品・健康グッズ		5.3	14.6	1.0	3.3	0.0
菓子類		15.7	9.6	16.9	6.4	5.3
その他食品		6.5	6.4	14.1	4.1	6.1
酒・タバコ類		8.7	4.6	0.2	2.9	6.0
民芸品・工芸品		4.1	4.4	3.0	2.6	23.4
生活雑貨		8.6	3.9	4.1	5.3	7.4
書籍・絵葉書・音楽CD・芸術品		1.5	2.6	2.7	0.6	2.9
まんが・アニメ・キャラクター関連		3.7	3.9	3.8	2.0	2.5
スポーツ関連		0.2	0.5	0.2	0.4	2.0
家電製品		2.2	3.8	1.8	12.9	4.3
カメラ		2.1	2.5	2.0	13.8	2.6
その他商品		1.4	3.4	2.7	1.4	1.9
サービス		2.1	0.8	0.8	0.4	5.9
その他		6.1	1.7	3.0	1.0	10.3
合計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

資料 観光庁「訪日外国人の消費動向」平成 22 年

2. 奈良県の中国人訪問客

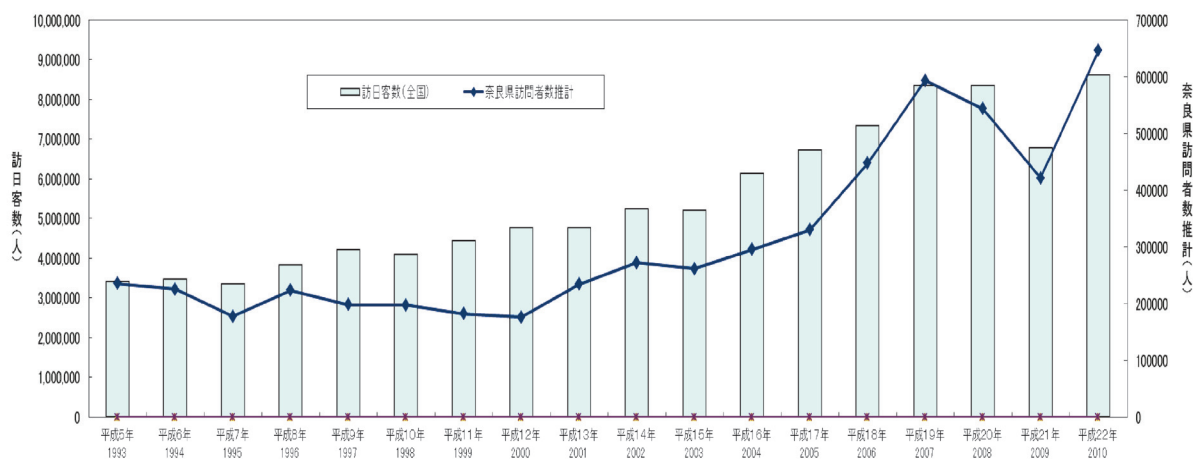
(1) 奈良県への外国人訪問客

①訪問客数

奈良県への外国人訪問客は、訪問率でみると1993年には6.9%であったが、2000年には3.7%まで低下した。その後緩やかに回復し、2007年には7.1%に達したのち、2008年6.5%、2009年6.2%、2010年7.5%と推移している。

この間、我が国を訪れる外国人訪問客は1993年の341万人から、2007年のピークには835万人まで増加し、奈良県への訪問客も23.5万人から59.3万人と増加している。2007年以降、全国の訪問客総数、奈良県訪問率ともに減少したため奈良県への訪問客は2009年は42.1万人となった。しかし、2010年には64.6万人と回復している

奈良県への外国人訪問客数の推移（確定値）



【備考】

※1 「訪日客数」～(独)国際観光振興機構発表の各年1月～12月の訪日外客数

※2 「訪問率」～(独)国際観光振興機構が実施する「訪日外客訪問地調査」(日本旅行を終えた外国人旅行者に対して各地の国際空港出国ロビーで日本旅行中の訪問地等の聞き取り調査。

基本的に1年度夏、秋、冬に実施。)で算出。「今回の旅行中に当該地を訪問した」と答えた回答者数÷全回答者数×100

※3 奈良県の「推定訪問客数」＝「訪日客数」×「訪問率」により算出した推計数値

資料 奈良県国際観光課ホームページ 2011

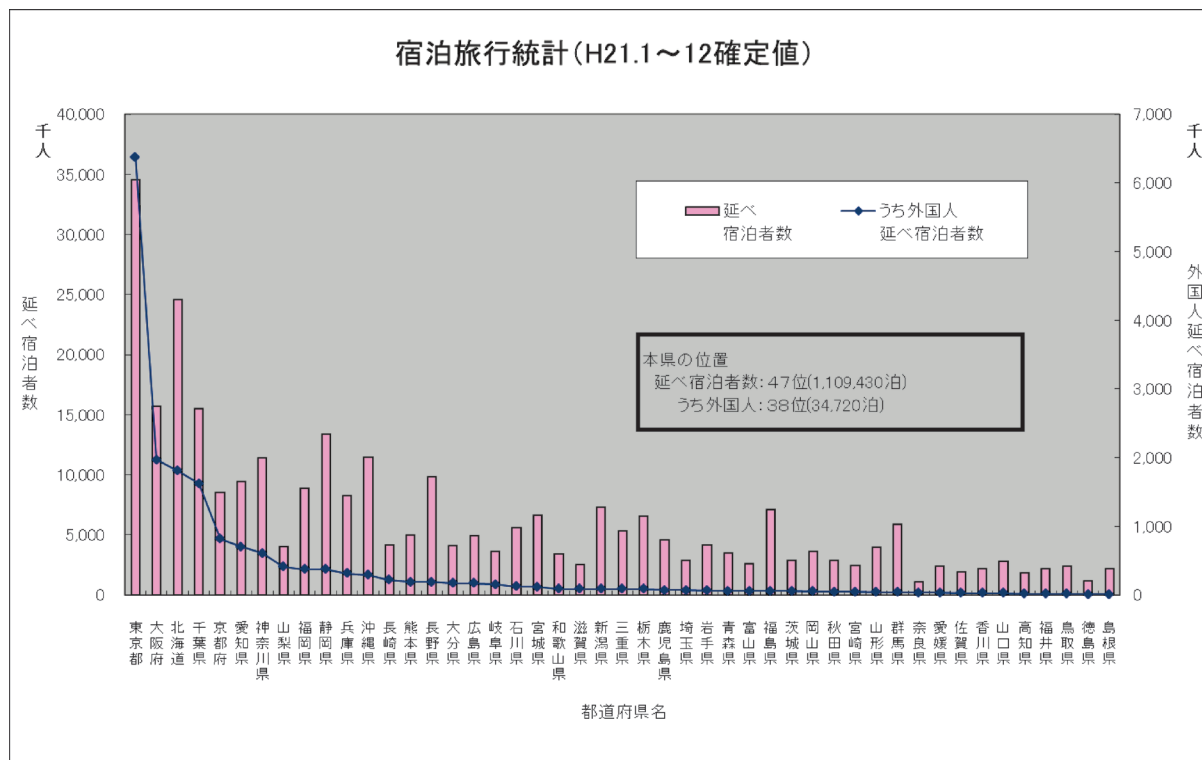
②宿泊者数

宿泊旅行統計でみると、奈良県は国内旅行者の延べ宿泊者数111万人、全国47位（最下位）に比べ、外国人旅行者は34.7万人、全国38位であり、外国人宿泊者は国内旅行者より少し上位であるが、訪問率に比べて極めて低い。国内観光、外国人観光のいずれにおいても奈良の宿泊機能が極めて貧弱なことが原因となっていると考えられる。

しかし、奈良県の宿泊観光において、国内旅行者に比べ外国人訪問者のほうが、やや健闘しているのは、我が国への外国人旅行者の大半が、成田→東京→富士箱根→京都→大阪→関西国際空港（またはこの逆）を経由する、いわゆるゴールデンルートを利用するが、奈良はこのルートか

ら約 30 分～1 時間と近距離にあるため、国内旅行の場合と比べて他県より有利な位置にあるためと考えられる。

府県別宿泊者数（平成 21 年 1 月～12 月）



奈良県国際観光課ホームページ 2011

③国別の訪問客数

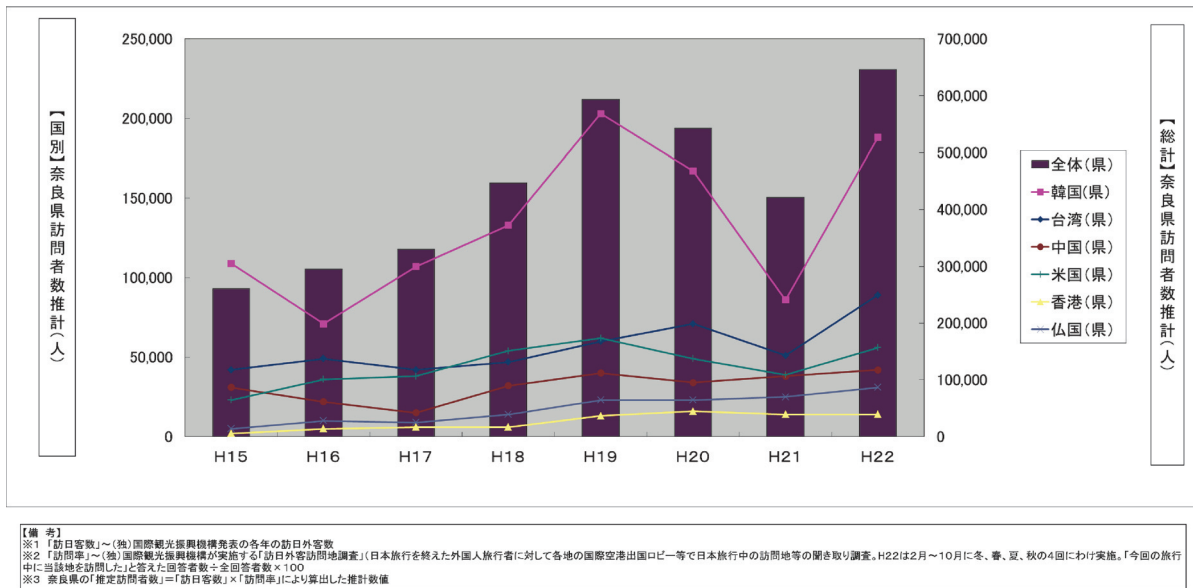
奈良県への外国人訪問客を国別にみると、平成 22 年は韓国 188 千人、訪問率 7.7%、台湾 89 千人、7.0%、中国 42 千人、3.0%、米国 56 千人、7.7%、香港 14 千人、2.8%となっている。

中国人の訪問客数は国別第 4 位であるが、訪問率（我が国を訪れた旅客のうち奈良県を訪問した割合）は外国人客全体の奈良県訪問率が 7.5%であるのに比べ、4.5 ポイントも低い。

もし、中国人旅行者の訪問率が他の外国人旅行者と同じであると仮定すれば、中国人旅行者は 106 千人となるはずであり、現状では奈良県は中国人訪問者に人気がないといえよう。

また、中国人訪問客数は、平成 22 年に平成 15 年と比べ 1.35 倍になっているが、外国人訪問客全体の伸び 2.48 倍に比べて伸びが小さい。

奈良への訪問客数



資料 奈良県国際観光課ホームページ 2011

(2) 奈良県における中国人観光客の行動

奈良県が実施した「外国人観光客動向実態調査」(平成18年秋実施、4人の調査員による聞き取り調査)をもとに、中国人観光の現状を述べる。

① 県内訪問先

中国人観光客だけでなく韓国、台湾など東アジア地域からの観光客は奈良県内に宿泊しないだけでなく、訪問先も東大寺、奈良公園、興福寺、春日大社等、奈良公園周辺の観光地を駆け足で訪問しているだけである。滞在時間が短いので、奈良県の「21世紀の観光戦略」の目標である「泊まる、じっくり楽しむ」とはかけはなれた実態である。

なお、この調査の実施にあたって、繁忙期であるとの理由で、県内宿泊施設の調査票回収率がきわめて低かった。また、そもそも調査に協力を断った宿泊施設もあったと報告されている。

国（言語）別訪問先

英語	中国語(簡体字)	中国語(繁体字)	韓国語	フランス語	全体
東大寺	東大寺	東大寺	東大寺	東大寺	東大寺
288	69	82	113	49	601
奈良公園	奈良公園	奈良公園	奈良公園	奈良公園	奈良公園
179	30	20	62	32	323
興福寺	唐招提寺	信貴山	興福寺	興福寺	興福寺
111	11	11	5	30	158
春日大社	春日大社	若草山	春日大社	お寺	春日大社
110	6	8	4	21	139
お寺	興福寺	興福寺	法隆寺	春日大社	お寺
76	6	6	3	19	97
法隆寺	その他	奈良町	その他	大仏	法隆寺
68	13	6	6	15	79
大仏		その他		国立博物館	大仏
55		17		10	70
国立博物館				依水園	国立博物館
37				9	47
奈良町				法隆寺	奈良町
27				8	33
二月堂				二月堂	二月堂
26				6	32
その他				その他	その他

注：中国語（簡体字）は中国、繁体字は台湾が該当する（以下同じ）。

資料：奈良県外国人観光実態調査 平成 19 年 3 月

②観光情報の入手

母国での情報入手方法は、インターネット 41 件 26.4%、テレビ 33 件 21.3%、旅行会 21 件 13.5%であり、ネットの利用は他の韓国、台湾、英語圏、フランス語圏とかわらないが、他国と比べテレビ及び新聞は中国が多く、旅行会社は東アジアの国々が押し並べて多い。

なお、中国の雑誌等では奈良は「3 時間程度滞在すれば十分」の観光地として紹介されている。

母国での情報収集方法

	英語	中国語(簡体字)	中国語(繁体字)	韓国語	フランス語	全体
インターネット	230	41	39	48	46	404
口コミ	185	14	17	14	29	259
雑誌	73	14	29	8	16	140
旅行会社	80	21	51	59	10	221
テレビ	8	33	20	1	2	64
新聞	8	17	3	1	5	34
ガイドブック	159	0	0	0	39	198
家族・友人・知人	67	2	2	0	5	76
図書	54	0	0	0	0	54
学校・先生	22	2	0	0	0	24
その他	44	8	3	1	3	59
入手できない	7	3	3	0	0	13
合計	937	155	167	132	155	1546

(複数回答あり)

資料：奈良県外国人観光実態調査 平成 19 年 3 月

③訪問回数（初めての旅行客が多い）

奈良への訪問回数を見ると、各国とも、「初めて」の訪問が多い(全体で 83%)が、特に中国は「初めて」の訪問が 88.6%と高く、リピーター客はまだ少ない。

奈良訪問回数

	英語	中国語(簡体字)	中国語(繁体字)	韓国語	フランス語	全体
初めて	557	93	91	110	100	951
2回	70	4	8	6	9	97
3回	23	2	4	2	3	34
4回	6	0	1	1	0	8
5回	6	0	2	0	0	8
6～9回	4	1	1	0	0	6
10～19回	2	0	0	0	1	3
20～29回	2	0	0	0	0	2
30回～	1	0	0	1	0	2
在住	2	0	0	0	0	2
複数回	3	0	1	0	0	4
不明	14	5	4	1	0	24
合計	690	105	112	121	113	1141

資料：奈良県外国人観光実態調査 平成 19 年 3 月

④奈良での宿泊

外国人観光客の奈良推定訪問率は全国 10 位であるが、すでにみたように、その多くは県内に宿泊しない。国別(言語別)、都市別にみると、全体では京都が一位、以下東京、大阪、広島、奈良の順である。奈良は、英語では 8 位、中国語(簡体字)では 4 位、中国(繁体字)では 3 位、韓国語では 6 位である。

宿泊施設が少ないので、多くの海外メディアは宿泊が伴わない奈良観光を紹介し、また海外旅行エージェントは県内での宿泊が伴わない旅行商品を多く企画していると言われている。

日本で宿泊する場所

英語	中国語(簡体字)	中国語(繁体字)	韓国語	フランス語	全体
京都	大阪	大阪	大阪	京都	京都
389	50	81	91	74	553
東京	京都	京都	伊勢	東京	東京
381	40	45	22	72	505
大阪	東京	奈良	熊本	大阪	大阪
210	34	16	22	41	473
広島	奈良	神戸	東京	奈良	広島
92	11	5	13	14	102
高山	名古屋	東京	京都	広島	奈良
50	11	5	5	10	78
神戸	札幌	名古屋	奈良	神戸	神戸
46	10	5	3	10	65
名古屋	神戸	その他	箱根	高山	名古屋
40	4	9	3	9	63
奈良	その他		その他	名古屋	高山
34	12		21	7	59
日光				箱根	箱根
27				6	33
箱根				岡山	日光
24				6	27
その他				その他	その他
453				44	599
合計	合計	合計	合計	合計	合計
1746	172	166	180	293	2557

(複数回答あり)

資料：奈良県外国人観光実態調査 平成 19 年 3 月

⑤日本での情報入手

訪日後の情報入手は観光案内所が上位であるが、観光案内所までの場所が分かる誘導サインが不十分であると指摘されている。

また、観光案内所では主として英語を中心とした案内を行っており、中国、韓国語に対応した観光ガイドは少ない。外国人観光客は訪日後もインターネットで情報を入手しているが、県内の観光事業者の中国語や韓国語によるネットでの情報発信は極めて不十分である。

日本での情報収集方法

	英語	中国語(簡体字)	中国語(繁体字)	韓国語	フランス語	全体
インターネット	95	26	20	17	12	170
観光案内所	272	37	40	31	27	407
宿泊施設	52	8	6	4	14	84
雑誌	37	14	16	4	9	80
駅	72	2	5	3	13	95
出国前	113	35	35	28	23	234
家族・友人・知人	113	2	1	0	6	122
ガイドブック	43	0	0	0	10	53
ガイド	11	1	2	32	4	50
図書	16	0	0	0	0	16
学校・先生	15	0	0	0	0	15
その他	13	8	5	0	1	27
入手できない	13	5	4	4	4	30
合計	865	138	134	123	123	1383

(複数回答あり)

資料：奈良県外国人観光実態調査 平成 19 年 3 月

⑥奈良への訪問理由

各国別の奈良への訪問理由をみると、韓国は歴史、欧米は文化体験が第 1 位となっているが、中国は自然景観、歴史、文化体験の順であり、台湾も 1 位は自然景観である。県によるこの調査は「奈良への訪問理由の 3 割以上が自然景観であり、中国、台湾は自国にないものに魅力を感じている。」と解釈している。

奈良への訪問理由

	英語	中国語(簡体字)	中国語(繁体字)	韓国語	フランス語	全体
歴史	285	38	38	67	40	468
文化体験	331	28	45	29	58	491
自然	217	48	55	16	31	367
知名度	258	11	7	14	48	338
勧誘	217	17	17	1	29	281
その他	2	10	8	12	6	38
合計	1310	152	170	139	212	1983

(複数回答あり)

資料：奈良県外国人観光実態調査 平成 19 年 3 月

3. 現状のまとめと課題

①中国人観光客の意義

中国人訪日客は、日本での旅行支出では既に第1位であるが、人数においても現在第一位の韓国人を抜いて、近い将来第1位となると予想できる。しかも、中国人訪日客は、男女とも20代、30代の若い人の占める割合が高い。中国人観光の重要性は今後、ますます高まると予想される。

②始まったばかりの中国人観光

中国で、海外旅行が一般人に開放されてからまだ日が浅い。そのため中国人観光に、現状では、以下のような特徴がある。

- ・2010年の訪日目的の内、観光目的は中国人が最も低く、60%弱である。
- ・訪日中国人のリピーターの占める割合は、他の東アジアの訪日客に比べて低く、20%弱である。
- ・中国人の訪日は、80%が団体旅行である。

中国人の海外旅行、訪日旅行はまだ、未成熟であると言えよう。

③奈良の魅力と中国人観光

奈良県の観光地の魅力である「歴史的建造物、伝統的景観、旧跡」に対する期待度は、中国、香港、台湾の人々では共通して低い。中国人のこれまでの国内観光は、古いお寺や遺跡を見学して宿へ帰って寝るだけのものが多かったという。したがって、単に古さや歴史だけを訴えてもあまり効果はないと考えられる。

訪日中国人で奈良を訪問した人は、100人に3人と極端に低い。これはこの事実によるものと考えられる。

訪日中国人の買物金額は、他国を離れずば抜けて高い。中国にない日本商品の「安全・安心・信頼」を求めている結果であろう。

④中国人の訪日旅行の満足度

中国人の訪日旅行の満足度は、他国に比べ低い。その理由は、次のように言われている。

すなわち、現在の中国人の日本観光は、かつて、日本人の訪中ツアーで値引きを中国旅行社に要求してきたと同様、送り込み中国旅行社が厳しい値引きを日本の旅行社に要求するため、宿泊、食事、輸送を低額に抑え、安価なバス移動、日本でのガイドもほとんどが無報酬か逆報酬で、ガイドによる中国人専門の土産物店への誘導や、粗悪品の車内販売などが横行する格安低質な訪日ツアーが多いと聞く。（週刊観光経済新聞 2010年11月27日中国人観光客考証より）

⑤今後の課題

中国人の海外旅行は、本格化してまだ時間がたっておらず、成熟していない。リピーター客はわずかで、ほとんどが格安の団体旅行である。しかし、今後、中国人海外旅行マーケットはさらに急拡大するとともに、先進的な部分から成熟すると考えられる。

奈良県への中国人観光の問題点の半分は、この未成熟さによるところが大きい。したがって、奈良県が中国人観光客対応で優位に立つためには、これからの急速なニーズの変化、成熟化への

対応を他に先駆けて実行することが必要である。

一方、現状の問題点の残りの半分は、奈良県の観光産業が従来から抱えているその後進性によるところが大きい。たとえば、宿泊機能の貧弱さや広報や情報提供、もてなしの不十分さである。

したがって、現在必要なことは、中国観光客に重点を置きつつ観光立県の基本に立ち、これらの不十分さを早急に克服することである。

案内板や案内所内の掲示物、ポスターからお店のメニューまで、まだ中国語表記が十分でないのは、上記2つの理由が2重に作用していると考えられる。

なお、現状、中国人には奈良の観光地の魅力である「歴史的建造物、伝統的景観、旧跡」はそのままでは通用しないという前提で誘致戦略を根本的に練り直すことが必要である。「歴史、伝統、旧跡」を新しい切り口で伝えること。中国人の立場からの味付け、物語性をたとえば、鑑真和尚を中国人はどう評価しているのかをふまえて再構築する必要がある。

また、「歴史的建造物、伝統的景観、旧跡」の観光に他の彼らが期待するもの（例えば「癒し」）を組み合わせることが望まれる。この場合奈良の自然景観は大きな財産である。さらに、奈良は、大阪や京都に比べても、ショッピングの魅力に乏しい。奈良で中国人の財布のひもを弛めさせるには、奈良でしか提供できない産品を発掘・開発すること、および体験や味覚、自然や歴史的環境の中での宿泊など買い物でない何かの特色ある仕掛けが必要である。

中国訪日客層は、若い男女が多いので、奈良誘致のターゲット客層を若い中国人女性に絞りこむことも検討すべきである。若い中国人女性にニーズの現状をふまえた対応が必要であり、北海道の「恋愛映画」ロケ地の事例にみるように、観光体験にストーリーを求める「物語としての観光」といった視点が今後ますます重要となる。